

メーデー参加のみなさんへのメッセージ

新型コロナウイルスの感染が猛威を振るい、世界中がこれとたたかう中で、日本で91回、世界で100年目のメーデーを迎えました。メーデーの伝統を受け継ぎ、困難な中だからこそ団結と連帯を強め、労働者の要求の実現と権利の拡大、働く仲間の命と健康を守るために力をつくしましょう。

新型コロナウイルスの感染防止のために休業する企業で、解雇や雇止めが広がっています。不安定雇用の労働者の中には、解雇とともに寮などの住居を失うという事態も生まれています。政府の景気判断に、リーマンショックの影響が残っていた2009年5月に使われた「悪化」という表現が11年ぶりに使われました。国民生活の実態もリーマンショックの時のような様相となり、派遣村の悪夢がよみがえってきます。いま、国民生活も日本経済も、これまで経験したことのない深刻な状況に直面しています。

また、医療機関、自治体、学校などで、今回のような緊急事態に対処できない実態が明らかになりました。利潤追求優先の新自由主義的経済政策のもとで、入院ベッド数の削減、保健所や学校の統廃合などがすすめられ、医師、看護師、公務員、教員が減らされてきたことが、緊急事態への対応力を低下させてしまったのではないのでしょうか。国民の命と暮らし、営業、雇用を守る当面の活動とともに、政治と社会のあり方を変えるたたかいに力をつくしましょう。

いまこそ、労働者と国民が声を上げる時です。誰もが8時間働けばふつうに、そして安心して暮らせる社会の実現をめざして、力を合わせましょう。コロナ危機は世界に広がっています。メーデーにふさわしく「万国の労働者団結せよ」をスローガンに、お互いに奮闘することをよびかけてメッセージとします。

2020年5月1日

日本共産党愛知県委員会
委員長 岩中正巳